



21 術中迅速病理組織診断件数

解説	正確で迅速な病理診断は、時として手術中に必要となることがあり、それに基づいて病巣切除の適否または切除範囲が決められます。そのためには、限られた時間内に切除された標本を処理し、迅速かつ正確な診断のできる熟練病理医と設備が病院内に必要となります。件数が増加するほど、これらの機能が充実していることを表現しています。												
実績	<table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成25年度</td><td>999</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>999</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>1,063</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>1,048</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>1,024</td></tr></tbody></table>	年度	件数	平成25年度	999	平成26年度	999	平成27年度	1,063	平成28年度	1,048	平成29年度	1,024
年度	件数												
平成25年度	999												
平成26年度	999												
平成27年度	1,063												
平成28年度	1,048												
平成29年度	1,024												
定義	「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP),N003-2 術中迅速細胞診」の算定件数です。												